

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ブライダル用語辞典		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。				
到達目標	3級ブライダルコーディネータ技能検定合格				
評価基準	テスト：60% 小テスト：20% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	3級ブライダルコーディネータ技能検定				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング ドレスデザイン・ブライダルプランナー検定・ブライダルセールス				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	中谷 麗	実務経験		○	
実務内容	結婚式司会者・プロデュースとして結婚式場にて16年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ブライダルコーディネータ技能検定について理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する

3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史①
5	日本の結婚式 歴史と文化	日本の結婚の歴史② 宗教と結婚式
6	日本の結婚式 歴史と文化	結婚に関する風習・いわれ
7	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式の歴史について知る
8	欧米の結婚式 歴史と文化	欧米の結婚式について知る
9	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移
10	ブライダル業種 ブライダル関連業種	ブライダル関連業種について理解する
11	見合いと婚約	見合い、婚約、婚約記念品
12	結納・婚約式	結納①
13	結納・婚約式	結納② 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせ
14	テスト	前期内容のテスト実施
15	総合	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード ブライダル用語辞典		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。				
到達目標	3級ブライダルコーディネータ技能検定合格				
評価基準	テスト：60% 小テスト：30% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	3級ブライダルコーディネータ技能検定				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング ドレスデザイン・ブライダルプランナー検定・ブライダルセールス				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	中谷 麗	実務経験	○		
実務内容	結婚式司会者・プロデュースとして結婚式場にて16年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エリア特性	結婚における地域特有の風習
2	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）
3	神前式	神前式の歴史と現状 神前式式次第①

4	神前式	神前式式次第②
5	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第 キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについて的小テスト
6	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第
7	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯
8	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
9	海外ウェディング・二次会	海外ウェディング、新婚旅行 二次会会場、1.5次会
10	コーディネーター業務	セールスと施工 担当制と分担制
11	新規業務	カップルの動き、集客方法について知る
12	ブライダルセールスの特徴 ホスピタリティ営業	ブライダル商品の特徴を知る
13	プランニング プレゼンテーション 新規アフターフォロー	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する
14	後期テスト	後期内容のテスト実施
15	総合授業	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム A		
		開講	単位数	時間数	
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社	Franklin covey	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてあるべき人格を高め、 自身および他者へのリーダーシップを醸成し主体性を発揮する人材を育成する				
到達目標	「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する				
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援／就職対策等				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	楠本 久実 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります
尚、今後の社会情勢に合わせてメディア授業等を取り入れる事により授業の展開が変わる事もあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ

4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どのような状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	【SDGs】とは？	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	割れた窓の理論	国際目標であるSDGsとは何か？またそのゴールは何かを学び、自分で出来る事を考える
9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考える事により、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
12	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
13	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解させ、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	成功するための原則	前期の総括とともに、あきらめないことの大切さを伝えモチベーションを高めていく

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム B		
		開講	単位数	時間数	
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック		出版社	Franklin covey	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてあるべき人格を高め、 自身および他者へのリーダーシップを醸成し主体性を発揮する人材を育成する				
到達目標	「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する				
評価基準	小テスト/レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援/就職対策等				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	楠本 久実 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります
尚、今後の社会情勢に合わせメディア授業等を取り入れる事により授業の展開が変わる事もあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを考える
2	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
3	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということ学ぶ
4	相乗効果を発揮する	多様性や人との違いがあることに価値があることを学ぶ
5	自分を磨く	自分を磨くことの大切さを伝え、学び続けることの大切さを考える
6	過去の自分とこれからの人生	具体的なライフプラン・人生の目的/目標設定を考える

7	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
8	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
9	未来マップを作ろう②	未来マップを発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
10	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
11	X Yゲーム	ゲームを通じて未来デザインプログラムで学んだことを常実践することは難しいということ学ぶ
12	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
13	後期の総括	後期の総括と2年生にむけてモチベーションを高めていく
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	2
時間数	30				
使用教材	サービス接客検定受験ガイド3級 サービス接客検定実問題集3級		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。				
到達目標	サービス接客検定3級に合格する。 基本的なビジネス文書を作成することができる。				
評価基準	小テスト30%・提出物10%・授業態度20%・検定合格40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	サービス接客検定3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	中野梨沙 他2名	実務経験	○		
実務内容	結婚式司会者・結婚式プロデュースとして結婚式場にて14年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められるマナーに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーとは ・敬語① ・敬語② 	<ul style="list-style-type: none"> ・接客業におけるビジネスマナーの重要性を知る ・敬語3種類の理解を学び、二重敬語など今後の話し方も考える ・検定対策の為、話す・書くの両方ができるように理解する
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ

3	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識 ・一般知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの種類や機能について学ぶ ・一般知識・ことわざ・慣用句・物の数え方など学ぶ
4	人間関係	<p>職場・来客などのコミュニケーションを良くする方法を学ぶ</p> <p>一般的なマナーの復習とともに、お客様から信頼される態度や言葉遣いを学ぶ</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・問題処理 ・環境整備・金品管理 ・慶事・弔事のマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や問い合わせについての対応方法を学ぶ ・環境整備はお客様の為に大切な事を理解する ・金品管理や金銭授受の言葉と動作、領収書について学ぶ ・祝儀袋の上書き用語・現金の包み方・袱紗などのマナーを学ぶ
6	検定対策①	過去問題より検定対策
7	検定対策②	過去問題より検定対策
8	検定対策③	過去問題より検定対策
9	社交文書①	<ul style="list-style-type: none"> ・縦書き・横書きのレイアウトを学ぶ ・文書の種類、構成や頭後と結語、時候の挨拶などを学ぶ
10	社交文書②	<ul style="list-style-type: none"> ・郵便の基礎知識を学び、宛名の書き方、返信はがきのマナーを学ぶ
11	電話対応	電話の掛け方・受け方・伝言メモなどを学び、ロールプレイングを行う
12	名刺交換・お茶出し	名刺の受け渡し方法・お茶の出し方を学び、ロールプレイングを行う
13	面接練習	面接試験の種類とチェックポイントを学び、ロールプレイングを行う
14	受付～誘導までご案内	受付～誘導までをロールプレイングで実践し学ぶ
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック		出版社	クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する。 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネイト力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト40%・提出物30%・授業態度30%・検定				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	パーソナルカラーコーディネイト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	廣川朋子	実務経験	○		
実務内容	ブライダルフラワーデザイナーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験より、フラワーアレンジメントを通して培った色に関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて	パーソナルカラーの重要性を知る
2	色の性質①	<ul style="list-style-type: none"> ・色の持つ性質や特徴を理解する ・有彩色と無彩色を理解する ・色の三属性を理解する
3	色のトーン① 色の心理的効果	<ul style="list-style-type: none"> ・トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ ・色の心理的効果を理解する

4	配色①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配色の基礎を学び、配色構成を理解する ・ 色相環・トーンを理解した上で配色を考える
5	配色②	<ul style="list-style-type: none"> ・ イメージ配色の重要性を理解する ・ 和装の配色方法を学ぶ
6	光の三要素 眼のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色がなぜ見えるのかを学ぶ ・ 三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
7	対比・補色対比 混色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対比・補色対比について学ぶ ・ 加法混色と減法混色を学ぶ
8	色のトーン②	トーンの4つのグループの特徴を理解する
9	色のトーン③	<ul style="list-style-type: none"> ・ メイク・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ・ ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
10	検定対策①	検定対策
11	検定対策②	検定対策
12	検定対策③	検定対策
13	パーソナルカラー判定①	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	シーズンカラー	各シーズンの特徴を学び、ファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠA		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	2
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度30%・提出物20%・面接20%・履歴書30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	鈴木 斐子 他3名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	2年間の就職活動の流れを把握する
2	ブライダル関連企業を調べる①	ブライダル企業について調べ把握する
3	ブライダル関連企業を調べる②	ブライダル企業について調べ把握する
4	就職活動サイト登録	リクナビ・マイナビに登録をする
5	身だしなみについて①	就職活動における身だしなみを理解する

6	身だしなみについて②	就職活動における身だしなみを理解する
7	就職先について	就職先業種や種類について理解する
8	求人票の見方	求人票の見方を学ぶ
9	自己分析①	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う
10	自己分析②自己PR	自己PRの書き方を学び、作成する
11	履歴書について①	履歴書の各項目ごとの注意点を学ぶ
12	履歴書について②	履歴書を作成する
13	面接練習①	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
14	面接練習②	面接練習を行う
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠB		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	2
時間数					30
使用教材	各校就職ガイドBOOK			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度30%・提出物20%・面接20%・履歴書30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	鈴木 斐子 他3名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	進路希望調査	・今後の就職活動の流れを把握 ・進路アンケートの実施
2	就職情報サイトについて	就職情報サイトの登録と活用方法を学ぶ
3	就職活動のルールについて	・各種届、証明書発行について把握 ・求人票の見方について学ぶ
4	自己分析①	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、自分史を作成する
5	自己分析②	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、社会人基礎力を把握する

6	自己分析③	自己PRを作成する
7	業界研究	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、業界研究を行う
8	企業研究①	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、企業研究を行う
9	企業研究②	ジョブ・カード キャリアプラン作成補助シートを用いて、企業への質問をまとめる
10	エントリーシートの書き方	自己分析、企業研究をふまえてエントリーシートの記入方法を学ぶ
11	履歴書指導①	自己分析・企業研究をふまえて履歴書を作成する
12	履歴書指導②	自己分析・企業研究をふまえて履歴書を作成する
13	面接指導①	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
14	面接指導②	集団での面接練習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マーケティング		
必修選択	選択	(学則表記)	マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ゼクシィ・ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する				
到達目標	ターゲットの設定、商品の選定、告知内容を理解し新しい商品を生み出すことができる				
評価基準	プレゼンテーション50% テスト40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠB				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	川崎 奈津子	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして、ゲストハウスにて7年間半勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められるマーケティングに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	マーケティングの必要性 ブライダルビジネスについて	マーケティングがなぜ必要なのか？ ブライダル市場は具体的にどのような内容を指すのか これまでのブライダル市場の推移について
2	ターゲットの選定	コンペティション内容の決定に向けてターゲットを絞る
3	商品の決定	ターゲットに向けて魅力的な商品とは何か考える
4	集客システムについて	ブライダル業界の集客システムはどのようなになっているのか？
5	商品の告知方法	商品の告知方法にはどのようなものがあるのか知る コンペティションの商品の告知方法を考える

6	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
7	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
8	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
9	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
10	コンペティション準備	ブライダルプロジェクトと連動して準備を進める
11	企業コラボ①	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
12	企業コラボ②	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
13	企業コラボ③	ブライダル企業の方より業界の現状と対策について講話いただく（オンライン可）
14	テスト	前期のテストを行う
15	総まとめ	前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	後期に受験する、全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	アテンド実践A、ドレスデザインB				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	松原明歌	実務経験		○	
実務内容	ドレススタイリストとして、結婚式場2年間、その後ドレスサロンで9年間勤務した実務経験をもとに、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ
2	ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材	ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ

3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ
5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する
6	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ
7	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリ、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ
8	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ
10	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
11	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ
12	ヘアースタイルによる スタイリング効果 小テスト	ドレスシルエットとヘアースタイルのバランスを学ぶ
13	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する
14	前期テスト 列席者の衣装・男性の洋装	前期筆記テスト 列席者の衣装について学ぶ
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスデザインB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米プライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	全米プライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	全米プライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	ドレスデザインA、プライダルプランナー検定I				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	松原明歌	実務経験	○		
実務内容	ドレススタイリストとして、結婚式場2年間、その後ドレスサロンで9年間勤務した実務経験をもとに、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ
2	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ
3	男性の洋装のフィッティング	タキシードフィッティング実習
4	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ

5	和装衣装	新婦和装衣装について説明する
6	和装衣装	新婦和装衣装について説明する
7	和装衣装 列席者衣裳	新郎和装、列席者の衣装について説明する
8	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る
10	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る
11	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
12	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
13	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題
14	後期テスト	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターンシップ対策		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップ対策		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	無し		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	インターンシップを行なう上での基礎知識を身に付ける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップとはどんなものかの理解が深まっている ・インターンシップを始めるための準備が整っている ・現場に出た時に、企業様に迷惑をかけず、自分も困らない基礎スキルが身に付いている 				
評価基準	提出物30%、授業態度40%、レポート30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	宇夫方 綾 他1名	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして、大手ゲストハウスにて9年間勤務した経験をもとに、ブライダル業界で求められる知識を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	結婚式の理解を深める	結婚式の仕事内容や種類を知る (ホテル・ハウス・フォト・衣装・ヘアメイク)
2	企業リサーチの仕方①	ブライダル企業を調べてまとめる
3	企業リサーチの仕方②	企業名と店舗 (持ちバンケット・チャペルの雰囲気) の一致が出来るようになるレベル
4	インターンシップ概要説明	規定と実施方法、ルール、心構え、身だしなみ
5	2年生講話	オンデマンド視聴&質問回収
6	2年生質問回答 履歴書の書き方①	簡易的な履歴書書き方説明 (キャリアデザインと情報共有必須) インターンシップの求人票の見方説明
7	履歴書の書き方② 仮アンケート実施	仮自己PR内容作成
8	履歴書の書き方③	ベース完成 履歴書作成 (キャリアデザインと情報共有必須)
9	電話やメールの仕方 本アンケート	面接調整時、企業とのやり取りに向けて
10	身だしなみ 面接練習①	髪型やメイク、スーツの着こなしなどの実践 面接の心構え説明 (対面・オンライン面接のポイントを知る)
11	面接練習②	ロールプレイング
12	面接練習③	ロールプレイング
13	電話やメールの復習	※8月中～面接実施を見越して
7月26日	インターン説明会	インターン希望者のみ →2年生による座談会/インターン手帳の作成・心得落とし込み
14	接客対応について①	ビジネスマナーや接客についての理解を深める サービスの座学や実践を行なう
15	接客対応について②	ビジネスマナーや接客についての理解を深める サービスの座学や実践を行なう

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アテンド実践A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する				
到達目標	授業を通して、衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 50% 実技30% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	ブライダル知識ⅠA・ドレスデザインA・ブライダルプロジェクトⅠA				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	川崎 奈津子 他1名	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして、ゲストハウスにて7年間半勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められるアテンダーに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・導入 結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添）業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ

3	アテンド（介添）に求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について（説明）	挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、ベール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）
5	アテンド（介添）について（実践）	ドレスの着せ方、新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
6	挙式のアテンド（実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
7	挙式のアテンド（実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
9	挙式のアテンド	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
10	挙式のアテンド（筆記テスト）	挙式アテンドテスト
11	挙式のアテンド（実技テスト）	挙式アテンドテスト
12	アテンド（介添）について（説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	総合学習①	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習②	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	2
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門			出版社	講談社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ				
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する。 ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルの作製が出来る。				
評価基準	テスト30%・授業態度30%・検定合格40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	島添 久美子 他1名	実務経験	○		
実務内容	フローリストとしてホテル・レストランにて12年間勤務した実務経験をもとに、フラワーアレンジメントに関わる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フラワーデザインについて	フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ
2	花束・ラッピング リボン作成	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う リボンの作り方を学び、実践する
3	ゲストテーブル④（ドーム型）	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う

4	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う
5	コサージュ・ブートニア	ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う
6	ゲストテーブル② (水平型)	テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う
7	メインテーブル	水平型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する
9	カスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、カスケードブーケを作成する
10	フローラルアクセサリ	ウェディングにおけるフローラルアクセサリの種類を学び、作成する
11	トライアングラー	三角形の作り方を学び、トライアングラー型アレンジを作成する
12	テスト	テスト
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。				
到達目標	挙式の一連の流れを理解する。 各役割の連携とり、模擬挙式を作ることができる。				
評価基準	授業態度40％・制作物40％・振り返り20％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	大谷 佳子 他4名	実務経験	○		
実務内容	コンシェルジュとしてゲストハウスにて3年間、ウェディングプランナーとしてゲストハウスにて2年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	模擬挙式概要説明 当日までのスケジュール、各セクションについて理解する。
2	目標・テーマ・各セクション決定、スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セクション決定、チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う

3	各セッション制作①	
4	各セッション制作②	各セッションごとに準備を進める
5	各セッション制作③	
6	紙上リハーサル	
7	挙式リハーサル①	挙式リハーサル① (各セッション、動きの確認)
8	挙式リハーサル②	挙式リハーサル② (挙式通しリハーサル・タイム取り)
9	全体リハーサル	全体リハーサル① (受付～誘導～挙式～お見送り)
10	クラス内発表本番	クラス内での挙式発表
11	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
12	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ
13	後期行事について	ブライダルコンペティションについて 企業様によるブライダル業界についての講話
14	校内コンペ	全国コンペティションの映像鑑賞
15	プレゼンテーションについて	プレゼンテーションのやり方について

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ブライダル業界の課題に対する改善策を考えられる 改善策のイメージをプレゼンテーション出来る 				
評価基準	校内選考企業評価50%・グループレポート30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	マーケティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	大谷 佳子	実務経験		○	
実務内容	コンシェルジュとしてゲストハウスにて3年間、ウェディングプランナーとしてゲストハウスにて2年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	成績評価について	成績評価に加わるレポートについて 全国コンペティションの映像鑑賞
2	チーム分け	チーム分け発表・チームごとに内容検討
3	内容検討	チームごとに内容検討 グループレポートの記入

4	プレゼンテーション準備	チームごとにプレゼンテーション準備
5	リハーサル	プレゼンテーションリハーサル
6	リハーサル	プレゼンテーションリハーサル
7	振り返り	プレゼンテーション本番振り返り
8	模擬披露宴	導入
9	模擬披露宴	セクション決め
10	各セクション制作①	セクションごとに準備を進める
11	各セクション制作②	セクションごとに準備を進める
12	紙上リハーサル	進行表をもとに紙上リハーサルを行う
13	模擬披露宴リハーサル①	全体リハーサル（通し）
14	模擬披露宴リハーサル②	全体リハーサル
15	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールスA			
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールスA			
開講					単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30	
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	社団法人日本ブライダル事業振興協会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおける立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。				
到達目標	新規接客及び顧客に向けた営業（付帯セールス）において、お客様の満足度を得られる接客スキルを身につける。第一印象が重要な業界を目指すための立ち居振る舞い・姿勢・表情を意識する意味・身だしなみを整える大切さを理解し、インターンシップや日頃の学校生活で実践させる。 就職活動等、今後のブライダルプロジェクトに活かせる、話し方、聴き方、カウンセリングで効果的な質問、受け答えが出来るようにする。				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルセールスB・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトII				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	馬場 則子	実務経験		○	
実務内容	結婚式司会者として結婚式場にて17年間、ウェディングプロデューサーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められるセールスに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	<ul style="list-style-type: none"> ・教員自己紹介 ・授業ルールについて ・皆が考えるセールスのゴールを考え様々な意見を吸収する

2	ウェディングビジネス マインド	結婚式を創る仕事をするプランナーの心構えについて 人が喜ぶ究極のおもてなしとは？
3	身だしなみ	・自己表現（オシャレ）と自己演出（身だしなみ）の違い ・プランナーとして、スタッフとして、どう見られているのかという意識を持ち 自己演出を考える
4	笑顔	笑顔と見られるポイントと使い分けを身につける
5	立ち居振る舞い	①立ち方 ②歩き方 ③手の組み方 ④座り方 ⑤物の渡し方 ⑥物の指し方 高額商品を売る側として、美しい立ち居振る舞いを身につける
6	求められる5つの基本能力 アイスブレイクについて①	・プレゼンテーション力とは ・ヒアリング力、コーディネート力、営業力、問題解決力とは 自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたらよいかを知る。 ・アイスブレイクとは
7	新規接客のご挨拶 アイスブレイク② ロールプレイング①	名刺交換の知識を伝え、これまで学んだ、身だしなみ、立ち居振る舞い、笑顔を意識し、新規接客のご挨拶のロールプレイング。
8	新規接客のご挨拶 アイスブレイク③ ロールプレイング②	
9	タイプ別の対応を理解する 発想の転換	お客様には心地よいと思う話し方がそれぞれ異なり、相手（お客様）が自分に合っていないではなく、自分が相手に合わせて接客することが大切だと学ぶ。 発想の転換でポジティブに変換する。
10	お客様の印象が変わる話し方	①話すスピード ②声の大きさ ③話すクセ ④視線 ⑤身振り・手振り ⑥表情 お客様が心地よいと感じる話し方を身に付ける。
11	お客様の印象が変わる 聴き方	①二人（新郎新婦）の対応 ②あいづち ③繰り返し ④間の取り方 お客様は話しやすいと感じる聴き方を身につける。（ペアワーク実施）
12	お客様の印象が変わる 話し方・聴き方を 身につける為のロールプレ イング	お客様の印象が変わる話し方、聴き方を実践する。
13		
14	テスト	筆記テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルセールスB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルセールスB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	社団法人日本ブライダル事業振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新規接客や打合せにおける立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる				
到達目標	お客様の満足度を得られる接客スキル、基礎基本を身につける。 新規接客前の集客の仕組み、ブライダルフェアでの予約の電話対応、お問い合わせに対する応対ができるようになる。 新規接客の基本的な流れを理解する。(本格的な資料の使い方や手法を取り入れた授業は2年次)				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルセールスA・ハウスセールス・ホテルセールス ブライダルプロジェクトII				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	馬場 則子	実務経験	○		
実務内容	結婚式司会者として結婚式場にて17年間、ウェディングプロデューサーとして結婚式場にて8年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められるセールスに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新規接客来館までの流れ	実際に自分がお客様の立場になった時にどのような応対をされると良いか考えることで、来館前の応対がいかに重要かを知る。
2	ブライダルフェア・相談会について	企業のHP、ゼクシィ等を使い、ブライダルフェアの目的、内容について

3	資料請求・HP・WEB・SNS・問い合わせ	集客方法とそれぞれの手法の対応方法について 問合せに対する返信文やSNSの発信について等、お客様視点で考える力を身につける。
4		
5	電話対応（知識+実践） ■電話対応の基本 ■ブライダルフェアの予約	電話の受け方、取次ぎ、電話をかける、表情、準備物等を学ぶ 電話でブライダルフェアの予約を受ける際の注意点を学ぶ
6		
7		
8	メモの取り方	簡潔に分かりやすく伝える知識を身につける。 電話をしながら、メモをとる実践
9		
10	新規接客の目的・ゴール	ブライダルフェアや相談会でプランナーが行う新規接客のゴールを理解する
11	クロージング	クロージングの目的、ゴールについて
12	新規接客の流れと資料	お出迎え～クロージングまでの順番、時間配分・目的・ポイント・資料を理解する。
13		
14	テスト	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートA		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートA		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ゼクシィ		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	テーブルコーディネートの必要性を理解する。 イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる。				
評価基準	テスト40%・授業態度30%・提出物30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	Ayame	実務経験	○		
実務内容	衣装スタイリストとして、ゲストハウスにて5年間、ウェディングプランナーとしてゲストハウスにて5年間、演出家として、ウェディングプロデュース会社5年間、その後フリーランスプランナー13年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められる空間デザインに関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	空間演出	結婚式における空間演出の重要性を学ぶ
2	空間演出の役割	照明・テーブル・椅子・装飾などの演出におけるイメージの違いを学ぶ
3	テーブルプラン	テーブルの様々な種類のイメージを学び、テーブルプランを考える
4	機材	空間演出において機材の必要性と種類を学ぶ
5	テーブルクロス	テーブルクロスの効果を学ぶとともに、たたみ方・裏表・山谷について学ぶ
6	センターピース	センターピースの役割を学び、色のもつイメージを学ぶ
7	色のトーン	同じ色でもトーンが違うことでイメージや相性のいい色がある事を学ぶ
8	小テスト 感性分類	感性分類という色のすみ分けについて学ぶ
9	感性分類	感性分類マップ別によって感じる印象の違い、イメージを学ぶ
10	イメージ別コーディネート①	エレガントに分類されるコーディネートを学ぶ
11	コラージュ①	エレガントに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
12	イメージ別コーディネート②	ロマンティックに分類されるコーディネートを学ぶ
13	コラージュ②	ロマンティックに分類されるコーディネートのコラージュを作成する
14	テスト	前期末テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アテンド実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践B		
開講		単位数	時間数		
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	無し		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する				
到達目標	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解し、実際に言動でも出来るようになっている。				
評価基準	テスト（筆記/実技）：50% ロール・プレイング、シミュレーション：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	アテンド実践A・ブライダルプロジェクトⅠ ブライダルプロジェクトⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	川崎 奈津子	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして、ゲストハウスにて7年間半勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められるコンシェルジュ・キャプテン等に関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介 前期振り返りを実施	挙式アテンドの振り返りと復習
2	コンシェルジュのアテンド クローズスタッフのアテンド	コンシェルジュ（クローズ）の業務内容を理解する
3	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ①	会場責任者の重要性、業務内容を理解する
4	キャプテン 結婚式当日の動きを学ぶ②	会場入り～披露宴おひらきまでの動きについて理解する
5	受付の説明 親族紹介の進め方を学ぶ	受付の説明、親族紹介について理解する
6	披露宴入場説明 お色直し入場説明	それぞれの入場説明が出来るようになり、新郎新婦を先導しアテンドすることが出来る。 (控室から会場に案内する際の口上も学ぶ)
7	先導について	
8	ケーキ入刀、 手紙・花束贈呈（演出）	結婚式の演出に合わせての口上を学ぶ
9	アテンドについて	
10	退場～おひらき アテンドについて	新郎新婦退場～おひらきまでの一連の流れを知る
11	筆記テスト	
12	実技テスト	
13	アテンド実践①	ウェディングプロデュースに向けて、グループに分かれアテンド練習
14	アテンド実践②	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践A		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践A		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	1
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。 また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる。 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる。				
評価基準	テスト（実技・筆記）：50% ロール・プレイング、シミュレーション：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ ブライダルプロジェクトⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	杉本 裕	実務経験		○	
実務内容	サービススタッフとしてレストランにて25年間、マネージャー・ホテルGMとしてホテルにて20年間勤務した実務経験をもとに、サービススタッフとしての知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・授業の目的、使用教科書、成績評価、授業のルール ・サービスについて考える
2	接客の基本 接客における好ましい表現	サービスの姿勢、笑顔、接客用語、身だしなみ
3	什器備品の知識	それぞれの特徴や用途・取扱い方法を知る
4	テーブルクロスやナフキンの折り方について	実際にクロスをかける、ナフキンを折ってセットしてみる

5	テーブルセッティング どんでん時のセッティング	テーブルセッティング、テーブルマナーを学ぶ
6	テーブルマナー メニュー表の読み方を知る	
7	お出迎え～提供サービス① 実技（練習）	トレイの持ち方・2枚、3枚、4枚持ちを学ぶ お出迎え、チェアサービス、卓挨拶、メニュー提示、オーダーテイク
8	お出迎え～提供サービス② 実技（練習）	
9	お出迎え～提供サービス③ 実技（テスト）	
10	サービス実践①	ウェディングプロデュースに向けたサービス基礎練習
11	サービス実践②	
12	レストランの管理業務 組織を知る	レストランの管理業務・組織を知る
13	レストラン等の電話対応 アレルギーについて	レストランのレセプションの電話対応 正しい接客用語を学ぶ
14	テスト	前期の総復習テストを実施
15	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーティプロデュース		
必修選択	選択	(学則表記)	パーティプロデュース		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ゼクシィ・ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	テーマに合わせた挙式、披露宴のプランニングが出来るように基礎的な結婚式の流れや用語を身につける				
到達目標	新郎新婦の要望に基づいたテーマプランニングができるようになる。				
評価基準	テスト50% プレゼンテーション40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	オリジナルプランニング・ホテルプランニング・ブライダル知識ⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	有岡 和則	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして6年間半、バンケットマネージャーとして3年間、結婚式場にて勤務、レストランマネージャーとしてレストランにて5年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界に求められる演出・ビジネススキル等を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 挙式スタイルの基礎知識	授業の目的・授業のルールの確認 挙式の種類と特徴について
2	挙式の流れと演出①	人前式について 人前式の演出について

3	挙式の流れと演出②	キリスト教式、神前式、仏前式について知る
4	テーマウェディングとは	テーマウェディングについて
5	挙式プロデュース①	テーマウェディングの挙式プロデュース
6	挙式プロデュース②	テーマウェディングの挙式プロデュース
7	挙式プロデュース③	テーマウェディングの挙式プロデュースの発表
8	披露宴の基礎知識	披露宴について
9	披露宴の流れと演出①	披露宴の進行について
10	披露宴の流れと演出②	披露宴の演出、当日のスケジュールについて
11	披露宴プロデュース①	テーマウェディングの披露宴プロデュース
12	披露宴プロデュース②	テーマウェディングの披露宴プロデュース
13	披露宴プロデュース③	テーマウェディングの披露宴プロデュースの発表
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと前期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習A		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習A		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word&Excel 2016 or 2019			出版社	株式会社ユアサポート 実教出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	検定60%、課題提出20%、授業態度・参加の積極性20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習B				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	坂本 裕香	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標について PC基礎知識、タッチタイピング
2	Word入門①	Wordの基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法について
4	Word入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動について
5	Word活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体についてについて
6	Word応用①	表の作成・編集について
7	Word応用②	表の作成・編集について練習
8	文書作成	表入りビジネス文書作成練習

9	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題
10	検定対策②	表入りビジネス文書作成練習、学科問題
11	Excel入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel書式設定について
12	Excel応用①	オートSUM、関数、四則演算について
13	Excel応用②	グラフの作成、グラフの設定変更について
14	前期まとめ	確認テスト(学科、タイピング、Word文書作成)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン演習B		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習B		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	1
使用教材	パソコン技能検定対策問題集3級・模擬問題集3級 30時間でマスター Word&Excel 2016 or 2019 はじめてのPowerPoint 2016 or 2019			出版社	株式会社ユアサポート 実教出版 秀和システム

科目の基礎情報②

授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	検定60%、課題提出20%、授業態度・参加の積極性20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定3級				
関連科目	パソコン演習A				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	坂本 裕香	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期パソコン演習A復習	前期パソコン演習Aの総まとめ 確認テスト問題解説
2	Word復習	表入りビジネス文書作成と解説
3	Excel復習①	表計算問題実施と解説
4	Excel復習②	表計算問題実施と解説
5	Word・Excel復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施 解説
6	後期まとめ	確認テスト(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
7	問題解説	確認テスト問題解説
8	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)

9	検定対策②	模擬問題実施(学科、タイピング、Word文書作成、表計算問題)
10	パワーポイント基礎①	プレゼンテーションとは、PPTの基本操作
11	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成①
12	パワーポイント基礎③	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成②
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウエディングプランナー科	2	45
使用教材	メイクアップテキスト（ベーシック） メイク道具一式		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイクの基本が抑えられている 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる				
評価基準	筆記テスト30%、実技テスト30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	ベーシックメイク検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	尾崎 麻梨子	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして、ブライダルヘアメイクサロンにて18年間勤務した実務経験をもとに、基本的なメイクの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 今後学ぶ内容について 教材のチェック	オリエンテーション 教材のチェック 基本セッティング&実践について学ぶ
2	『骨格と表情筋』 クレンジングについて学ぶ	『骨格と表情筋』・・・顔の名称を覚える 手指消毒～リクレンジングまでの理論と方法を学ぶ
3	スキンケアについて学ぶ	前回の復習 スキンケアの種類、方法などを学ぶ 実際に相モデルで行う

4	クレンジング 実技テスト 筆記小テスト	クレンジング基礎知識とともにこれまでの復習を兼ねた小テストの実施
5	ファンデーションについて学ぶ	今まで学んだ箇の復習 ファンデーションについて説明&デモ&実践
6	アイメイクについて学ぶ①	前回の復習 ファンデーションについて復習 アイメイクについて学ぶ（アイシャドウ、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック） （半顔ずつ横グラデーション・縦グラデーション）
7	アイメイクについて学ぶ②	前回の復習 アイメイク相モデルでタイムトライアル
8	アイブロウについて学ぶ①	前回の復習 基本の眉のプロポーションについて学ぶ・セルフ実技 使う道具など
9	アイブロウについて学ぶ②	前回の復習 アイブロウ相モデルで実践 左右対称に行い。形の違いを理解する
10	チーク・リップ ハイ&ローライトについて学ぶ	前回の復習 骨格を意識したメイクを学ぶ （3パターン行う）
11	フルメイクの練習①	【テストに向けて】 タイムトライアル（45分）
12	フルメイクの練習①	・時間内にメイクができるようになる。 ・技術を向上させる（左右対称、自然な仕上がりなど） 反復練習を行い技術力を上げる。
13	フルメイクの練習②	
14	実技テスト・筆記テスト メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実技テスト 前期に学んだ範囲すべての筆記テスト メイク検定の説明
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウエディングプランナー科	2	45
使用教材	メイクアップテキスト（ベーシック） メイク道具一式		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイクの基本が抑えられている 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる				
評価基準	筆記テスト30%、実技テスト30%、小テスト（実技・筆記・課題提出含む）20%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	ベーシックメイク検定				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	尾崎 麻梨子	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして、ブライダルヘアメイクサロンにて18年間勤務した実務経験をもとに、基本的なメイクの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	メイク検定ベーシックについて ソフト理論を学ぶ	オリエンテーション 検定について、プロポーションについて レクチャー・相モデルでポイントメイク
2	ソフトの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）
3	シャープ理論を学ぶ・小テスト	レクチャー・相モデルでポイントメイク 筆記に向けて小テスト
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習（タイムトライアル制限時間内にメイクをする）

5	ソフトORシャープの練習①	検定に向けて実践練習
6	ソフトORシャープの練習②	タイムトライアル制限時間内にメイクをする
7	実技・テスト(実技筆記対策)	検定と同様に実技テスト (スキンケア～フルメイク、筆記試験) 苦手克服 (苦手な部分を集中して練習)
8	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ
9	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランス イメージを理解する (SWEET/ROMANTIC)
10	メイクの種類を学ぶ③ シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (FEMININE/LUXURY) シーンに合わせたメイク…和装などにあうメイク
11	メイクの種類を学ぶ④ シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (POP/NATURAL) シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
12	メイクの種類を学ぶ⑤ ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する (COOL/CRASICAL) シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク
13	メイクの種類を学ぶ⑥ ケース別メイク	メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるコラージュのやり方 ブライダルシーンに合わせたメイク
14	モデルの顔分析 似合わせ	モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネススキルA		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキルA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生としての採用を目指す人材を育成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ 営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して企業の中での様々な部門の視点を身に付ける・ ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る				
評価基準	テスト、課題提出（発表内容）60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして6年間半、バンケットマネージャーとして3年間、結婚式場にて勤務、レストランマネージャーとしてレストランにて5年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界に求められるビジネススキル等を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入	<ul style="list-style-type: none">・ 先生の自己紹介、授業のルール、成績の付け方・ ビジネスとは何か（ビジネス用語を学ぶ意味）
2	ビジネス用語を学ぶ意味	<ul style="list-style-type: none">・ 会社の中の部署と役割について・ ビジネス用語を学ぶ意味
3	人事総務について① ～働き方改革～	～働き方改革～ <ul style="list-style-type: none">・ 教科書P12【働き方改革】 P13【残業規制】 P18【裁量労働制】 P16【スーパーフレックス】 P21【ワークライフバランス】

4	人事総務について② ～多様な働き方～	～多様な働き方～ ・教科書P20【ダイバーシティ】 P38【副業・兼業】 P17【非正規社員】 P14【同一労働同一賃金】
5	人事総務について③ ～企業と社員の関係～	～企業と社員の関係～ ・教科書P23【従業員体験】 P24【ES調査】 P25【健康経営】 P43【アセスメント】 P30【パワハラ】 P40【カフェテリアプラン】
6	人事総務について④ ～場所や時間にとらわれない働き方～	～場所や時間にとらわれない働き方～ ・教科書P31【テレワーク】 P32【サテライトオフィス】 P33【ノマドワーク】 P34【グループウェア】 P35【Web会議】 P36【コワーキングスペース】 P37【フリーアドレス】
7	人事総務について⑤ ～人材育成～	～人材育成～ ・教科書P26【マインドセット】 P27【EQ】 P39【エルダー制度】 P41【インターンシップ】 P42【ARCSモデル】 P44【ロールモデル】 P45【PDSサイクル】
8	小テスト	・人事総務系ビジネス用語の確認小テスト ・小テスト振り返り
9	営業について① ～営業活動とは ・消費行動のメカニズム～	～営業活動とは～ ・教科書P132【ブランディング】 P133【プロモーション】 ～消費行動のメカニズム～ ・教科書P134【AIDMAの法則】 P135【AISAS】 P136【AMTUL】
10	営業について② ～様々な営業のかたち～	～様々な営業のかたち～ ・教科書P137【BtoB・BtoC】 P138【フラッグシップ】 P139【コンセプトショップ】 P140【インバウンド】 P142【IR(統合型リゾート)】
11	営業について③ ～営業トークスキル～	～営業トークスキル～ ・教科書P143【アイスブレイク】 P144【ラポール】 P145【ハンガートーク】 P147【エクスキューズ】 P148【クローズドクエスチョン】 P156【アクティブリスニング】
12	営業について④ ～営業スタッフとしての姿勢・手法～	～営業スタッフとしての姿勢・手法～ ・教科書P141【ホスピタリティ】 P146【アドホクラシー】 P149【インセンティブ】 P150【コミッション】 P151【ネゴシエーション】 P152【フットインザドア】
13	営業について⑤ ～その他営業で使われる用語～	～その他営業で使われる用語～ ・教科書P153【リテール】 P154【コスバ】 P155【CS】 P157【オポチュニティ】 P158【チャンネル】
14	営業について⑥ ～その他営業で使われる用語～	～その他営業で使われる用語～ ・教科書P159【リレーション】 P160【ワンストップサービス】 P161【Eコマース】 P162【ロングテール】 P163【カウンターパート】
15	前期テスト	・前期テスト ・振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネススキルB		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネススキルB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	ビジネス用語図鑑		出版社	WAVE出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生としての採用を目指す人材を育成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業系を中心に、人事総務・経営・IT&AI・製造・コンサルなどの「ビジネス用語」を学ぶことを通して企業の中での様々な部門の視点を身に付ける ・ ビジネス用語をきっかけとして、ビジネスの面白さを知る 				
評価基準	テスト、課題提出（発表内容）60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして6年間半、バンケットマネージャーとして3年間、結婚式場にて勤務、レストランマネージャーとしてレストランにて5年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界に求められるビジネススキル等を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	IT&AIについて① ～AIの技術～	～AIの技術～ ・教科書P95【AI】 P96【AGI】 P97【シンギュラリティ】 P98【ディープラーニング】
2	IT&AIについて② ～現代のIT活用方法～	～現代のIT活用方法～ ・教科書P94【クラウド】 P99【ビッグデータ】 P100【データマイニング】
3	IT&AIについて③ ～IT・WEBを活用した ビジネス～	～IT・WEBを活用したビジネス～ ・教科書P102【SNS】 P103【インフルエンサー】 P105【ブロガー】 P106【ユーチューバー】 P107【アフィリエイト】 P111【バズマーケティング】

4	IT&AIについて④ ～新たなIT技術～	～新たなIT技術～ ・教科書P108【VR】 P112【5G】 P113【仮想通過】 P114【フィンテック】 P117【デジタルトランスフォーメーション】
5	IT&AIについて⑤ ～その他IT関連で使われる用語～	～その他IT関連で使われる用語～ ・教科書P101【セキュリティ】 P116【インプレッション】 P126【コンバージョン】
6	小テスト	・IT系ビジネス用語の確認小テスト ・小テスト振り返り
7	経営について① ～企業が果たすべき責任～	～企業が果たすべき責任～ ・教科書P50【コーポレートガバナンス】 P51【コンプライアンス】 P52【メディアリテラシー】 P53【アカウントビリティ】 P59【サステナビリティ】
8	経営について② ～経営活動～	～経営活動～ ・教科書P54【アジェンダ】 P55【デコンストラクション】 P56【ブレイクスルー】 P86【クレド】 P87【SWOT分析】
9	経営について③ ～企業との利害関係がある人・団体～	～企業との利害関係がある人・団体～ ・教科書P65【ステークホルダー】 P67【コンペティター】 P68【コンシューマー】 P70【イノベーター】 P71【アーリーアダプター】 P72【ラガード】
10	コンサルティングについて① ～分析のための情報と手法～	～分析のための情報と手法～ ・教科書P200【エビデンス】 P201【クリティカル】 P202【アジャイル】
11	コンサルティングについて② ～時代のニーズにあわせた思想の変化・ニーズの引き出し～	～時代のニーズにあわせた思想の変化・ニーズの引き出し～ ・教科書P208【パラダイムシフト】 P209【コンテンポラリー】 P210【オルタナティブ】 P213【エンパワーメント】 P214【インサイト】 P215【ステータス】
12	コンサルティングについて③ ～問題分析とその考え方～	～問題分析とその考え方～ ・教科書P216【ソリューション】 P218【ファシリテーター】 P221【インスパイア】 P228【ロジックツリー】
13	後期テスト（総まとめ）	・後期（総まとめ）テストを行う
14	テスト振り返り	・テストの振り返りと、必要な部分の補足学習を行う
15	総合授業	・総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	リーダーシップ論A		
必修選択	選択	(学則表記)	リーダーシップ論A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	図解 面白いほど役に立つ 人を動かすリーダーカ		出版社	日本文芸社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論				
到達目標	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける				
評価基準	テスト・課題提出・プレゼンテーション60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして6年間半、バンケットマネージャーとして3年間、結婚式場にて勤務、レストランマネージャーとしてレストランにて5年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界に求められるビジネススキル等を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介・オリエンテーション	自己紹介・授業の概要・評価方法・リーダーシップとは
2	目指すリーダーカ	リーダーになるために必要な5つのポイント

3	リーダーには何が必要か	リーダーシップを発揮するために必要な5つの条件
4	自己紹介作成	リーダーは自分を知ってこそ活かすことができる。自分を知るための自己紹介を作成
5	理想のリーダー像	有名な人・偉人でリーダーシップのイメージが強い人を調べる(個人ワーク) 個人ワークしたものをグループで発表後、グループワーク
6	リーダーとしての共通点	調べて、ディスカッションした内容から色々なリーダーがいることを理解する 人をまとめる力についての種類を理解する
7	「偉人伝シリーズ①あきらめないために」 グループディスカッション	・偉人のリーダーシップについて学ぶ。(カーネル・カーネルサンダース) ・グループディスカッション
8	「偉人伝シリーズ②あきらめないために」 グループディスカッション	・偉人のリーダーシップについて学ぶ。(松下 幸之助) ・グループディスカッション
9	理想のリーダー像①	前回、前々回の振り返りから、自分が真似したい、学びたい偉人を個人ワークで探し特徴を学ぶ
10	理想のリーダー像②	前回の続き、プレゼン作成
11	理想のリーダー像③	プレゼンテーションを行う。自分がどういう風を目指していくか
12	理想のリーダー像④	前回の続き。プレゼンテーションを行う。自分がどういう風を目指していくか
13	メンバーのやる気の引き出し方	人に協力してほしいとき、周りの人間に対して日常的にどのように接することが大事か あなたにとってのメンターを考えよう
14	コミュニケーション力向上には	人を育てる・巻き込むには5つのポイントがある 行事や、人間関係の構築にはコミュニケーションの向上が必須
15	総合授業	前期の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	リーダーシップ論B		
必修選択	選択	(学則表記)	リーダーシップ論B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	図解 面白いほど役に立つ 人を動かすリーダーカ		出版社	日本文芸社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論				
到達目標	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける				
評価基準	テスト・課題提出・プレゼンテーション60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	有岡 和則	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして6年間半、バンケットマネージャーとして3年間、結婚式場にて勤務、レストランマネージャーとしてレストランにて5年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界に求められるビジネススキル等を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後輩・部下と上手くコミュニケーションをとろう	8聞き2喋りで聞き役に回ろう 信頼関係を築くには「ラポール」が大事
2	評価・叱り方	公平な評価をすることが大事 「ファクト評価」をすることが大事 チームメンバーを叱るときは、「ヒト」として叱らない

3	褒める技術	自分の日常の行動や他社の行動を思い返し、褒める技術・習慣化させる
4	授業の実践	リーダーシップを生かすために、ディベートを行う
5	授業の実践	リーダーシップを生かすために、ディベートを行う
6	授業の実践	リーダーシップを生かすために、ディベートを行う
7	授業の実践	リーダーシップを生かすために、グループディスカッションを行う
8	プレゼン力をつけるためには	口達者である必要はない。 4つのルールを使って表現力を高めよう
9	プレゼン力実践	一つの商品をプレゼンしてみる
10	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (ディベート・グループディスカッションを活用する)
11	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (ディベート・グループディスカッションを活用する)
12	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (配布資料・PPTの作成)
13	MYリーダーシップ論の作成	今まで学んで来た内容を基に、自らのリーダーシップ論を作成 (配布資料・PPTの作成)
14	MYリーダーシップ論の作成	自ら作成したリーダーシップ論を教員見学(可能であれば)元でプレゼンテーション
15	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC協会認定ブライダルプランナー検定2級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ・ブライダルプランナー検定2級を取得する 				
評価基準	検定結果：60% 小テスト：30% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルプランナー検定2級				
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	中野 梨沙	実務経験	○		
実務内容	結婚式司会者・結婚式プロデュースとして結婚式場にて14年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション American Weddings 第6章 アメリカンウェディングとは	①自己紹介 ②授業の目的、使用教科書、検定概要、成績評価、授業のルール ■アメリカンウェディング全体を理解する ■第6章の過去問題を解く
2	American Weddings 第1章 アメリカンウェディングとは	■アメリカンウェディング全体を理解する ■第1章の過去問を解く

3	American Weddings 第2章 アメリカンウェディング ～準備編1～	<ul style="list-style-type: none"> ■ブライダルショー・ブライダルパーティ・婚約ギフト・ペーパーアイテム・フォト・ビデオ・服装について理解する ■第2章の過去問題を解く
4	American Weddings 第3章 アメリカンウェディング ～準備編2～ American Weddings 第4章 アメリカンウェディング ～本番1～①～	<ul style="list-style-type: none"> ■それぞれのギフトや演出・挙式、レセプション会場等について理解する ■リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ■各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する ■第3章の過去問題を解く
5	American Weddings 第4章 アメリカンウェディング ～本番1～②～	<ul style="list-style-type: none"> ■リハーサルウェディングや伝統的な言い伝えを理解する ■各宗派の挙式をそれぞれしっかりと理解する ■第4章の過去問題を解く
6	American Weddings 第5章 アメリカンウェディング ～本番2～	<ul style="list-style-type: none"> ■レセプションについて ■アメリカンウェディングの総まとめ ■第5章の過去問題を解く
7	Japanese Weddings 第1章 第2章2-12まで 日本のブライダル市場	<p>特に1990年代の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ■第1章の過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第2章 ウェディングの決定	<ul style="list-style-type: none"> ■結納・結婚式 ■第2章の過去問題を解く
9	Japanese Weddings 第3章 婚礼施設の主業務	<ul style="list-style-type: none"> ■第3章の過去問題を解く
10	Japanese Weddings 第4～5章 関連商品・サービス／衣装・主 要各業務	<ul style="list-style-type: none"> ■第4章、第5章の過去問題を解く
11	検定対策（総まとめ）①	<ul style="list-style-type: none"> ■過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
12	検定対策（総まとめ）②	<ul style="list-style-type: none"> ■過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
13	検定問題解答・解説	<ul style="list-style-type: none"> ■検定試験の解答・解説を行い、自己採点を行う
14	American Weddings 第7章 宗教ウェディング	<ul style="list-style-type: none"> ■宗教ウェディングの基礎知識とプロテスタントの挙式、カトリック・ユダヤ教の挙式、非宗教挙式について学ぶ ■第7章の過去問題を解く
15	総合学習	<p>総まとめを行う</p>

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践B		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	1
時間数					30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。 また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。				
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる。 正しい接客用語やテーブルマナーを理解し実践できるようになる。				
評価基準	テスト（実技・筆記）：50% ロール・プレイング、シミュレーション：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ ブライダルプロジェクトⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、 または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	杉本 裕	実務経験	○		
実務内容	サービススタッフとしてレストランにて25年間、マネージャー・ホテルGMとしてホテルにて20年間勤務した実務経験をもとに、サービススタッフとしての知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	飲料サービス①	水、コーヒー、紅茶のサービスを学ぶ
2	飲料サービス②	
3	ワイン・シャンパン・食前酒	抜栓方法や提供方法、食前酒について ワインリストの読み方、ワインの種類や特徴を知る
4		

5	レストランウェディングを知る・考える	現在のレストランウェディングの流行りや有名なレストラン等を知る。 どのようなパーティが出来るのか？料理は？価格帯は？装飾は？どんなサービスをするべきか
6	レストランをプレゼンする	
7	デザート・フルーツ・チーズ サイドサラダのサービス	フルーツカットの実践
8	カクテル①（考案）	グループでカクテルを考案する テーマを決定しプレゼンを実施
9	カクテル②（試作・プレゼン）	グループで試作をし、プレゼンテーションを行う
10	知識を広げよう①	食品の知識を学ぶ
11	知識を広げよう②	
12	サービス実践①	各結婚式場のサービスの違いを知る
13	サービス実践②	サービスの実践 ウェディングプロデュースに向けたサービス実践
14	筆記テスト	総復習の筆記テスト
15	総合授業	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ホテル概論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテル概論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	基礎から学ぶ ホテルの概論		出版社	ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学びます。				
到達目標	ホテルの特徴や、ホテルウェディングの強みを自信をもって語れること。				
評価基準	課題提出60% テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ホテル概論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	倉田 里沙	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして、ホテルにて6年間勤務した実務経験をもとに、ブライダル業界にて求められる知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介、授業の目的・ルール 第1章 「ホテル」とは何か 第9章 ホテルスタッフに求められる能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、この授業の目的、ルール ・ホテルの魅力を語れるようになる ・ホテルに就職したいと思える ・ホテルスタッフに求められる能力を理解する
2	第2章 ホテルの分類	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの種類と特徴を知る ・世界のホテルの歴史 ・日本のホテルの歴史
3	第3章 ホテルの発達の歴史	
4	第4章 ホテル産業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの組織・職種/他の授業とのつながりを知る。 ・プランナーはどこに属して、他部門との関連性を知る。
5	第5章 ホテル内での様々な職種	

6		例：シティホテル・リゾートホテル・外資系ホテル アーバンリゾートホテル・ビジネスホテル など
7	ホテル調査	いくつかのグループに分かれて調べ、身近にどんなホテルがあるのか発表
8	宴会部門について① 宴会予約の仕事や基礎知識	宴会予約（プライダルアドバイザー）、宴会サービス、クローク、プライダルアドバイザー
9	宴会部門について② 一般宴会	一般宴会について学ぶ 仕事内容や一般宴会の利用内容など
10	宴会部門について③ 基礎知識	テーブルプランについて学び、実際に会場のレイアウト表を作成してみる
11	婚礼サービスと吊事の知識	六輝、数字の吉凶、長寿のお祝い、法要について学ぶ
12	料飲部門について① レストラン	ホテル内の料飲施設の種類 フランス料理、中国料理、日本料理など
13	料飲部門について② 朝食	ホテル内の料飲施設の種類 ホテルの朝食について学ぶ
14	料飲部門について③ ビバレッジ レセプションサービス	ビバレッジについての知識を学ぶ レセプションサービスの仕事内容を把握し、接客マナーについて学ぶ
15	後期のまとめ テスト	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定 レストランサービス技能士3級 学科試験合格				
評価基準	授業態度20% 各章のまとめ20%×4回				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士3級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	唐橋 誠治	実務経験	○		
実務内容	サービススタッフとしてホテルにて8年間、マネージャーとしてレストランにて4年間勤務した実務経験をもとに、レストランサービスの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 食材・飲料等の基礎知識1	授業の流れ、到達目標について 食品の分類別特徴、食品の管理、西洋料理に使用される主な食材について
2	食材・飲料等の基礎知識2	西洋料理に使用される主な食材について
3	食材・飲料等の基礎知識3	一般的な西洋料理調理法等について
4	まとめ	演習問題を実施する
5	料飲概論	アルコール飲料について

6	食材・飲料等の基礎知識4	ワインの知識、その他の飲料について
7	食材・飲料等の基礎知識5	メニュー構成について
8	まとめ	演習問題を実施する
9	食材・飲料等の基礎知識 6	食器類について 料飲サービススタッフの役割と求められる資質について
10	宴会とレストランサービス1	料理と飲み物のサービスについて
11	まとめ	演習問題を実施する
12	宴会とレストランサービス2	レストランにおける接遇について
13	宴会とレストランサービス3	ワゴンサービスについて
14	宴会とレストランサービス4	一般的な救護方法ならびに食事のサービスマナーについて
15	総まとめ	総まとめの演習問題を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習Ⅰ			
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習Ⅰ			
開講					単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	1	30	
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会		

科目の基礎情報②

授業のねらい	国家検定実技試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な動作を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士3級 実技試験合格を目標として、ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	小テスト20%×2 まとめ実践（グループ評価）40% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士3級				
関連科目	レストランサービス検定対策1・Ⅱ レストランサービス演習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	唐橋 誠治	実務経験		○	
実務内容	サービススタッフとしてホテルにて8年間、マネージャーとしてレストランにて4年間勤務した実務経験をもとに、レストランサービスの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本動作	授業の流れ 到達目標について 立ち居振る舞いの実践をする
2	接客用語 サービストレイの扱い1	接客用語について トレイの扱いを実践する
3	什器備品の知識1 サービストレイの扱い方2	シルバーウェアの名称と用途について トレイサービスを実践する
4	まとめ	学んだことを実践する
5	什器備品の知識2 リネングッズの扱い	グラスとリネン類の名称と用途について ナプキンホールドとクロス掛けを実践する

6	テーブルセッティング1	朝食と昼食のセッティングについて
7	テーブルセッティング2	フランス料理フルコースについて フルコースのセッティングを実践する
8	プレートサービス1	料理皿の扱いを実践する
9	まとめ	学んだことを実践する
10	水とワインのサービス	水・ワインの注ぎ方を実践する
11	グループワーク1	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
12	グループワーク2	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
13	グループワーク3	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
14	まとめ	学んだことを実践する
15	総まとめ	振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影基礎演習		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影基礎演習		
開講					
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	30
使用教材	WEDDING PHOTO		出版社	一般社団法人 日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングフォト（婚礼写真）の知識、撮影基礎技術を学び、ウェディングフォトの提案および撮影テクニックを身につける。				
到達目標	ウェディングフォトの商品説明ができる。 ウェディングフォト商品別に手順を理解した上で、手配業務ができる。 スマートフォンを使用した撮影、編集ができる。 一眼レフカメラを使用し、ウェディングフォトのロケーション撮影ができる。				
評価基準	試験（検定）・実習：60% 課題提出：20% 授業態度・出席率：20%。				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JWSA認定ウェディングフォトスタイリスト検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	村上 智哉	実務経験		○	
実務内容	音響・映像スタッフとして音響・映像プロデュース会社にて21年間勤務した実務経験をもとに、撮影に関する知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、ウェディングフォト（婚礼写真）について（DVD）
2	通過儀礼における写真	日本の通過儀礼における写真撮影について
3	ウェディングフォトの接客	ウェディングフォト業務の接客について
4	ウェディングフォトの業務	ウェディングフォトの業務の流れと必要なスキルについて
5	カメラの基礎知識	写真を撮るための基礎用語と知識について
6	スマートフォン撮影①	スマートフォンのカメラ機能を理解し、撮影実践
7	スマートフォン撮影②	スマートフォンのカメラ機能を使用して、課題撮影およびアプリを使用した編集を実践

8	SNSとは	ソーシャルネットワークサービスの効果と注意点について
9	ウェディングフォトの種類と知識①	「集合写真」「記念写真」「スナップ写真」の利点、手順、費用について
10	ウェディングフォトの種類と知識②	「前撮り」「ロケーションフォト」「エンゲージメントフォト」「フォトウェディング」の利点、手順、費用について
11	スタジオ写真①	スタジオ写真の技術について（フォトスタジオ見学含む）
12	スタジオ写真②	「親族写真の並べ方」「新婦和装の振付け」について
13	スナップ写真①	挙式の式次第と撮影ポイントについて
14	スナップ写真②	スナップ写真の撮影シーンについて
15	スナップ写真撮影実践①	人前式の挙式を設定し、撮影準備をする
16	スナップ写真撮影実践②	人前式のスナップ写真撮影を実践する 「フォトコンテスト」に向けた撮影の実践
17	ロケーションフォト①	ロケーションフォトの手順、撮影シーンについて
18	ロケーションフォト②	「海外フォトウェディング」「ロケーションフォトの撮影テクニック」について
19	ロケーション撮影実践①	テーマを設定し、モデル、ロケーションの検討、撮影準備をする
20	ロケーション撮影実践②	ロケーション撮影を実践する
21	プレゼンテーション	撮影したロケーションフォトのプレゼンテーション
22	ウェディングフォトの編集	ウェディングフォトの編集、加工テクニックについて
23	ウェディングフォトの製本	ウェディングフォトの製本方法、手配業務について
24	ウェディングフォト撮影実践①	フォトスタジオなどの実際の現場見学を通して、撮影実践に向けた準備や企画を想像する
25	ウェディングフォト撮影実践②	ウェディングフォト「ロケーション撮影」「会場撮影」を企画する
26	ウェディングフォト撮影実践③	ロケーション撮影及び会場撮影の準備・実践をする
27	ウェディングフォト撮影実践④	ロケーション撮影及び会場撮影の実践・編集・プレゼン準備をする
28	プレゼンテーション	撮影したウェディングフォトのプレゼンテーションの実践
29	試験	検定試験の実施（科目試験含む）
30	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ウェディングプランナー科	2	60
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている ・相手の立場に立った物の考え方ができる ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる 				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式、または同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	宇夫方 綾	実務経験		○	
実務内容	ウェディングプランナーとして、大手ゲストハウスにて9年間勤務した経験をもとに、ブライダル業界で求められる知識を教授する。				